



本弘寺別院
秦野市渋沢 1398-12
TEL : 0463-82-9577
✉ honkouji.wakka@gmail.com

今年も残すところわずかとなりました。寒さが一段と厳しくなってきましたが、お変わりございませんでしょうか。

先日、父と母が結婚50年を迎えました。夫婦の間柄をとっても大切にしている父と母。この50年、我を張らず、生かされ、助けられ、許され、我慢されている私でしたと頷けると、自ずと感動と感謝の気持ちがわいてくるんだよ。と話されていました。

夫婦の間だけでなく、親子や友人の間柄もそうですね。そして、お寺と皆さんとの間柄も。

今年も一年ありがとうございました。来年もよろしく願い申し上げます。

初法座のご案内

仏さまの前で身を正し、あらためて自分自身を見つめ、一年を歩み出す新年の法話会です。

とき **1月7日(日)**
午後2時~3時
ところ **富鶴浄苑 2F 礼拝室**

浄土真宗の「お正月」の迎え方
浄土真宗ではお仏壇(お内仏(ないぶつ))に鏡餅をお飾りしますが、しめ縄や門松などは用いりません。
お花も松の枝や千両などお正月らしいものを混ぜてみるのもいいかもしれません。

年賀状はいつ出す!?

近年、メールやSNS等で新年の挨拶をする事が増え、年賀状を出す方が減っているようです。

その年賀状ですが、出される方はいつ投函されますか。ここ数年、私は新年を迎えてから投函するようにしています。

それというのも、郵便局から25日迄に投函されれば元日に届けますと言われても、あと一週間は今年があるわけですから。その間にお浄土に迎えられるかもしれません。(その点からすると、SNS等で新年の挨拶をする方が理に適っている様ですが。)

こんな事を話すと、大抵の方が坊主は嫌な事を言うなというような顔をされます。私も元気に新年を迎えたいのが本音です。

しかし、私たちより先にお浄土へ還られた方達が教えてくれているのです。

沢山の方々の御法事を勤めさせて頂く中に、私にはその方々の声ははっきりと聞こえてくるのです。

明日なんてものは誰も保証されていない、今日一日だぞ、今日一日を大切に生きると

ですから、私は無事に新年を迎えてから安心して年賀状を投函するようにしています。合掌

こども仏教

ブツダがせんせい

かめさん

ぼくはかめさん
うさぎのように走れないから
まわりのようすをながめたり
かめの歩みもわるくない
ぼくはぼくですそれでいい

ぼくはかめさん うさぎのように
走れないから 一歩ずつ 一歩ずつ
前へ進むんだ うれしい涙 かなしい涙
いっぱい流して いろいろな事を
たくさん感じて できる事からやっていく

ぼくはかめさん
ゆっくり生きるのもいいもんだよ
うさぎのように走れないから
ぼくはぼくです それでいい
そんな自分も いいなあ



法蔵館 「いきているってふしぎだね」より引用

毎日の生活の中で、いろいろな事に迷い、転びながら、子育てをしています。子どもを見ているようで、見ていないこともしばしばです。ウサギのほうがいいに決まっていると自分の価値観を押し付ける始末です。頭ではわかっている、なかなかできません。また新しい年を迎えて、皆さんと一緒に仏法を聴聞させていただく中で、自分を見つめ、子どもたちにも生きる喜びと力を与えていければと思っております。

坊守

東本願寺

私ども浄土真宗東本願寺派のご本山は、浅草にございます。日本一の道具街である「かつぱ橋」の近くでもあります。以下の日程で法要がございましたので、お参りされてはいかがでしょうか。
※修正會とは新たな年を迎え、仏さまの前で身を正し、改めて自分自身を見つめ直し、1年を歩み出す新年の法要です。

◇ 修正會
期間：元旦～3日
晨朝法要：期間中 7:00～7:30
昏時法要：期間中 15:00～15:30
場所：東本願寺本堂

住所：東京都台東区西浅草 1-5-5

電話：03-3843-9511(代)

◇ アクセス

電車でお越しの場合

・東京メトロ銀座線

「田原町駅」：徒歩5分



年回忌表 平成30年(2018)

- 1 周忌 平成29年にお亡くなりの方
- 3 回忌 平成28年 (2016)
- 7 回忌 平成24年 (2012)
- 13 回忌 平成18年 (2006)
- 17 回忌 平成14年 (2002)
- 23 回忌 平成8年 (1996)
- 27 回忌 平成4年 (1992)
- 33 回忌 昭和61年 (1986)
- 50 回忌 昭和44年 (1969)

仏法をきく

浄土真宗は「聞の宗教」と言い表すことがあります。『蓮如上人御一代記聞書』の中にも「ただ仏法は聴聞に尽きるのである」と書かれています。「聴く」と「聞く」のふたつの「きく」を重ねていることから、「きく」ことの大切さがわかります。

子どもたちにも、人の話をちゃんと聞きなさいと言っていますが、自分のことを振り返ってみると、自分にとって「必要」「大切」と感じたことはよく聞き、自分にとって「不要」「不都合」な話は、左から右に受け流してしまいます。

ある方に法話会に来ないかお誘いしたところ、「まだ、私には関係ありませんから」と断られました。また、ある方は、「この話は嫁さんに聞かせてあげよう」と仰いました。

仏法は、わが身に置き換えてきき、法の鏡に自分を映すことにより「そうであった」と自分自身をきくことが仏法聴聞です。ともに、聴聞させていただきましょう。

今後の法話会スケジュール

- 1月7日14:00～ 富鶴浄苑
- 1月18日11:00～ 本弘寺別院
- 2月4日14:00～ 富鶴浄苑
- 2月18日11:00～ 本弘寺別院

■持ち物:お念珠

■費用:お賽銭箱に100円~1000円程度を入れてください